



小松市立矢田野小学校 学校だより

ももくさ

令和7年3月5日

校長 しんみょう 新名 孝

6年生を送る会 ～笑顔で思い出に残る送る会に・・・～

2月21日、大雪による影響もありましたが、無事に会を行うことができました。参観に際し、徒歩での来校ありがとうございました。各学年の児童が今もっている力を発揮し、積極的に自己の役割に“挑戦”する姿、“感謝”の気持ちを表現しようとする姿が見られました。

1年生：ハキハキと大きな声を響かせて、6年生にメッセージを届けていました。

2年生：みんなで楽しみながら、リズムにのって一生懸命演技する姿がかっこよかったです。

3年生：方言に挑戦！地域の人、昔の人っぽく発音したり、話したりする工夫がみられました。

4年生：ありがとうの気持ちをセリフに込め、得点で表し、精一杯伝えていました。

5年生：人のために楽しみながら会を創り、支え、やり切りました。素晴らしい！！

6年生：あっという間の2時間、たくさんの笑顔が見られました。また、卒業の時間が迫ってきていることを実感し、うれしいような寂しいような気持ちになっている様子も見られました。

6年生を送る会、当日までの練習、準備等を通して、「伝える、協力する」といった力に加え、「勇気、自信」といった目に見えにくい心の力もついたんじゃないかと思います。さらなる“進化”を期待しています。

6年生は小学校生活の限られた日数、時間の中で、今の自分ができることをやり尽くして、胸を張って次のステージへと進んでいってほしいと思っています。

つながる矢田野っ子の「自己指導能力」を高めるために・・・

「自己指導能力」（生徒指導提要・・・文部科学省が出している生徒指導の手引き より↓）

・自己の目標を選択・設定して、目標達成のため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自分の行動を決断し、実行する力

学校には力を付ける場面、状況がたくさんあります。

・廊下を走りたくなるけど・・・

・掃除時間、もっとおしゃべりしててもいいかな・・・

・授業中、学習用端末（タブレット）で遊びたいな・・・ などなど

「ダメ！」「するな！」より、肩をそっとたたいて気付かせたり、「どうしたらいい？」と問いかけ考えさせたり、自分でよりよい判断・行動ができるような働きかけを心がけています。

数日、数カ月、数年後かもしれませんが、進化、成長した姿を期待し、関わり続けています。